

2030年度における電源構成（エネルギーミックス）の決定について

2015年7月16日
電気事業連合会
会長 八木 誠

本日、政府の長期エネルギー需給見通し小委員会において2030年度におけるエネルギーミックスが決定された。

エネルギー政策については、S+3Eの観点から、特定の電源や燃料源に過度に依存しない供給体制を構築することが極めて重要であると考えており、今回、決定されたエネルギーミックスでは、全体として、バランスのとれた電源構成の姿が示されたと受け止めている。

原子力についてもエネルギー基本計画において「必要な規模を見極める」とされていたが、今回、確保すべき一定の規模が明示されたことは意義があると考えている。

今後はエネルギーミックスをどのように実現していくかが大変重要な課題と考えており、そのための施策についても、速やかにご検討いただきたい。

私どもとしても、今回決定したエネルギーミックスを踏まえ、S+3Eの実現を目指してまいります。

以 上